

360°

フォトジャーナリスト

宇田 有三

「これからダウンタウン
の市場に行ってくるよ」
ゲストハウスのマネージ
ャーは一瞬、信じられない、
という表情をした。

仕事がない



ラウリアナ・エリサ(8歳)、1年前か
らお父さんとストリートミュージシャン
として働き始める

った。以前よりもそのスペ
ースはかなり大きくなって
いた。簡易コンロで肉を焼
いていた男性、以前はロス
アンジェルズで働いていた
という。

「仕事がないのがね、こ
の国の一番の問題なんだ
よ。だから犯罪が増えるの
さ」

大通りで、下着を腕いっ
ぱいに抱えていた女性も同
じ事を言っ。

「物売りで日銭を稼いで
いる。四人の子どもがいて、
一日の手取りは五ドル。ほ
かに仕事がないんですよ」。
タクシー運転手の話も同
じ。

「どうして? 生活に必
要な品物はすべて、この近
くで買えるでしょう」
そんな返事が、間髪を入
れず返ってきた。危ない。
強盗に遭うよ。この町に慣
れていてもやめた方がいい。
九二年の内戦終了後、
何が変わったっていうと、
犯罪が増えたんだから。特
にこの数年はひどい。真剣
に私の身を案じて、忠告し
てくれる。

ストハウスに泊まることに
した。ちよつと違ったエル
サルバドルを経験したかつ
たからだ。

バスで約十五分、二十セン
ト(エルサルバドルは米ド
ルを使用)でダウンタウン
に着く。

首都サンサルバドルは、
出した後、コンクリート造
り、二階半建ての市場周辺
を歩き回る。迷路のように
入り組んだ通り。いつも
知り合いの雑貨屋に顔を

宿から歩いて十分の所に
は、中米で最大規模のショ
ッピングセンター、メトロ
・セントロがそびえ立つ。
いくつものデパートや映画
館が入った複合モールであ
る。まるでミニチュアの米

首都サンサルバドルは、
出した後、コンクリート造
り、二階半建ての市場周辺
を歩き回る。迷路のように
入り組んだ通り。いつも
知り合いの雑貨屋に顔を
出したら、コンクリート造
り、二階半建ての市場周辺
を歩き回る。迷路のように
入り組んだ通り。いつも
知り合いの雑貨屋に顔を

出したら、コンクリート造
り、二階半建ての市場周辺
を歩き回る。迷路のように
入り組んだ通り。いつも
知り合いの雑貨屋に顔を

先進国である日本も、途
上国であるエルサルバドル
でも、働きたい人は大勢い
るのに仕事がない。私には、
世界経済の難しい理論はよ
く分からない。だが、どこ
か根本的な問題があるは
ず。誰かこの「仕事がない」
という現象の背景を説明し
てくれないだろうか。

過去四回の中米エルサル
国。メトロ・セントロから
しては、心なしか道路を占拠
していた屋台の数が減った

教会裏に出た。目の前は
「米国製中古品蚤の市」だ
てくれないだろうか。